

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-4-1
東京外丸ノ内線
四谷三丁目駅から徒歩3分

コミュニケーションセンター
TEL : 03-5369-6075
FAX : 03-5369-6044

THE [国際交流基金] JAPAN FOUNDATION



日本の
友人をふやし、
世界との絆を
はぐくむ



世界の人々との友情を
はぐくむためには
まずは相手のことを知ること。
そして自分について
知ってもらうことが大切です。
だから、わたしたちは、
世界の各地域の理解を深め、
日本の文化や言葉を伝え、
対話の機会をふやすことに
取り組みつづけています。



1 | 文化

[文化芸術交流]
Arts and Cultural Exchange

感動は、心の距離を近づける

海外の音楽やアートにふれて、その国に対する興味が広がった経験はありませんか。異なる文化や芸術に接したときの“感動”は、言葉の違いを乗り越え、相手のことを知りたい、理解を深めたいという意欲を生み出してくれます。国際交流基金は、日本の文化を、美術や音楽、演劇、映画から、ファッションやデザインまで幅広く世界中の人たちに紹介しています。



2 | 言語

[海外における日本語教育]
Japanese-Language Education Overseas

言葉という大きな橋をかける

海外の人たちに日本語を知ってもらうことは、日本への親しみや友情を広げる大きなきっかけになります。そこでわたしたちは、世界中のもっと多くの人に日本語を学んでもらえるよう、日本語教師の研修、教材の開発、日本語能力試験の実施など、各国の学習環境の整備を進めています。



3 | 対話

[日本研究・知的交流]
Japanese Studies and Intellectual Exchange

学ぶことは、理解すること

海外の人たちが日本について知りたい、学びたいと思ったとき、自国の身近なところに日本の専門家がいることは、とても心強いことです。国際交流基金では、海外の日本研究者を支援するほか、各国の有識者同士の対話が深まるように、シンポジウムや共同プロジェクトなどを行っています。



国際交流基金では、日本と世界の人々がつながる「文化」、「言語」、「対話」の“3つの場”をつくることで、お互いの中に共感や信頼をはぐくみ、日本の友人をふやしていきます。





小林康博さん

1995年国際交流基金入職。パリ赴任は通算14年間、主にパリ日本文化会館での舞台公演を担当した他、ユネスコ本部にも2年間勤務。2015年秋に東京の本部へ。引き続き文化芸術交流に携わる。

舞台芸術を通じて 新たな日本の ファンをふやしたい



1 | 文化 [文化芸術交流] Arts and Cultural Exchange

エッフェル塔の近くに「パリ日本文化会館」という、劇場を備えた拠点があります。私はここで約8年間、舞台公演を担当してきました。フランスには日本好きの方がたくさんいますが、日本の演劇やダンスを観たことがある方は必ずしも多くありません。演劇文化が息づくパリで、日本の舞台芸術を発信することで、新たな日本のファンをふやしたいと仕事に取り組んできました。

公演の反響が大きく、他の劇場での再演が決まり、より多くの人に日本の舞台芸術に触れてもらったときは嬉しいですね。例えば、舞踏集団・大駱駝艦の公演はフランス3か所での再演が決まり、舞踏ダンサーを目指して来日するフランスの方がいるほど好評でした。

今後はアーティストを招くだけでなく、作品をつくることから携わるようなプロジェクトに取り組んでみたいです。



パリ日本文化会館15周年の際に上演された、大駱駝艦による『クレイジーキャメル』。



西野 藍さん

海外の人たちに対する日本語研修や海外の日本語教育支援、日本語能力試験(JLPT)の業務など、国内外で日本語教育に携わってきたスペシャリスト。

日本語を選んでくれた
海外の人たちを
支え続けていきたい



2 | 言語 [海外における日本語教育] Japanese-Language Education Overseas

実は私、国際交流基金でのインターンシップがきっかけで、日本語教師の道を選んだんです。以来約20年、海外の日本語学習者支援の専門施設である関西国際センターで外交官や研究者のための日本語研修を担当したり、専門家としてタイで現地の日本語教員養成に携わるなどし、世界各国の学習者をサポートしてきました。

現在の担当は日本語能力試験に関する業務です。68か国で実施

されている世界最大規模の試験だけに高い専門性が要求されますが、「合格したよ!」という喜びの報告が世界中から届くのは、とても励みになりますね。

私は教える側ではあるけれど、日本語を学び、言葉を通じて交流しようとするみんなを尊敬しています。だから、日本語が好きでいてくれる人を支え続けたい。天職といえる、やりがいのある仕事に巡り合ったと思っています。



関西国際センターで授業を受ける研修生たち。どの瞳もキラキラ輝いている。



アンドリヤナ・ツヴェトコビッチさん

日大大学院芸術学研究科で博士号を取得。日本映画への造詣が深く、映画監督の経験もある。2014年、在日大使館開設に伴い初代マケドニア共和国大使に。

経験をいかして 日本との 交流の架け橋に



3 | 対話 [日本研究・知的交流] Japanese Studies and Intellectual Exchange

5歳のときに黒澤明監督の映画『羅生門』を観て、哲学的で独創性のあるストーリーや、美しい映像表現に魅了されました。日本の映画や文化を研究したいと2005年来日し、日本大学大学院で博士号を取得しました。

2011年、国際交流基金のフェローシップで再び来日。憧れだった京都に住みながら、国際日本文化研究センターで日本映画の研究を続けました。国際交流基金のみ

なさんはとても親切で、常に研究や京都での生活をサポートしてくれました。松竹撮影所などがある京都には日本映画の資料が充実していて、研究や日本文化への理解をより深められました。フェローによる貴重な経験は、現在の大使の仕事にもとても役立っています。

マケドニアの魅力をもっと積極的に紹介していくことで、両国の人々が相互理解を深める「交流の架け橋」になりたいと考えています。



ツヴェトコビッチさんは日本映画の専門家として、各地での講演も手がける。

いま、ここに力を入れています！

アジアの絆を強くする

ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION

誰もが架け橋になれる“日本語パートナーズ”で、 あなたらしい国際交流を！

海外の友だちをつくりたい、国際交流に携わってみたいというあなた、国際交流基金の“日本語パートナーズ”に参加してみませんか。“日本語パートナーズ”は、東南アジア諸国の中学校や高校で日本語の先生や生徒たちのパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うのが役割。日本語を教えた経験や専門的な知識は必要なく、応募要件に当てはまれば誰でも応募できます。

派遣地域の人たちとの交流を通して、東南アジア各国の言葉や文化を学んだり、現地の暮らしを体験したり、さまざまな新しい発見



と出会うこともできます。こうして学んだ相手国の言葉や文化を、ぜひ日本のみなさんに発信してください！日本のことを伝えるだけでなく、現地のことを知って伝える双方向の交流を通して、日本と東南アジアの架け橋になります。



言葉を越えて友情をはぐくむスポーツ交流

スポーツを通じた交流は、言葉や文化の違いを越えて、世界の人々との間に友情を育ててくれます。例えば、日本サッカー協会、Jリーグと連携して、選手、コーチ、審判等幅広いサッカー文化の担い手の交流と人材育成に取り組んでいます。



アジアに防災を担う若者のネットワークを HANDS! -Hope and Dreams- PROJECT

多くの人に防災の知識を伝え、災害に強いアジアをつくる。国際交流基金アジアセンターでは、「HANDS! PROJECT」を通じて、次の時代の防災教育を担う若者を育成・支援しています。



ストリートダンスでアジアをつなぐ DANCE DANCE ASIA

ストリートダンスをキーワードに活動するダンスグループやダンサーのアジア域内の交流と共同制作を実施するプロジェクト。舞台芸術分野における新しい価値やムーブメントを創りだすことを目指します。



あなたの活動や好奇心に役立つ 情報があります

「海外での日本語教育に興味があるんだけど……」

「私も国際文化交流イベントに参加してみたいな」

そんな時は国際交流基金にアクセスを。まずはウェブサイトで、
あなたの活動や好奇心に役立つ情報を探してみてください。



©Mariko Tagashira

もしも、国際文化交流の 活動に参加したいと思ったら

1. 国内で開催する国際文化交流のイベントがあります
→ 国際交流基金ウェブサイト → イベント紹介
2. 海外での国際文化交流の参加者を公募するプログラムがあります。
→ 国際交流基金ウェブサイト
→ 日中交流センター → ネットワーク整備事業
→ 国際交流基金ウェブサイト
→ 日米センター → 個人向け支援・ボランティアの機会をお探しの方へ
→ 国際交流基金ウェブサイト
→ アジアセンター → “日本語パートナーズ”



©Mariko Tagashira

もしも、国際交流を サポートしたいと思ったら

1. 国際文化交流活動をご支援いただくためのご寄附を受け入れています
→ 国際交流基金ウェブサイト
→ 国際交流基金を知りたい → 寄附制度・CSR

もしも、あなたが 文化芸術活動に興味があったら

1. 国内外の舞台関係の最新情報が日英2か国語で読めます
→ Performing Arts Network Japan <http://performingarts.jp/>
2. アーティストやNPOの国際的な文化芸術活動を支援しています
→ 国際交流基金ウェブサイト → 助成を受けたい

もしも、あなたが海外の 日本語教育に関心があったら

1. 世界各国の日本語教育事情がわかります
→ 国際交流基金ウェブサイト
→ 3つの交流事業 → 日本語教育 → 日本語教育について調べる
2. 海外に派遣する日本語教育専門家の公募情報があります
→ 国際交流基金ウェブサイト → 国際交流基金を知りたい → 採用情報
3. オリジナル教材作成やeラーニングのための
日本語教育用素材が手に入ります
→ みんなの教材サイト <http://minnanokyozai.jp/>
→ エリンが挑戦! にほんごできます。 <http://www.erin.ne.jp/>
→ NIHONGO えな <http://nihongo-e-na.com/>

もしも、あなたが研究者なら

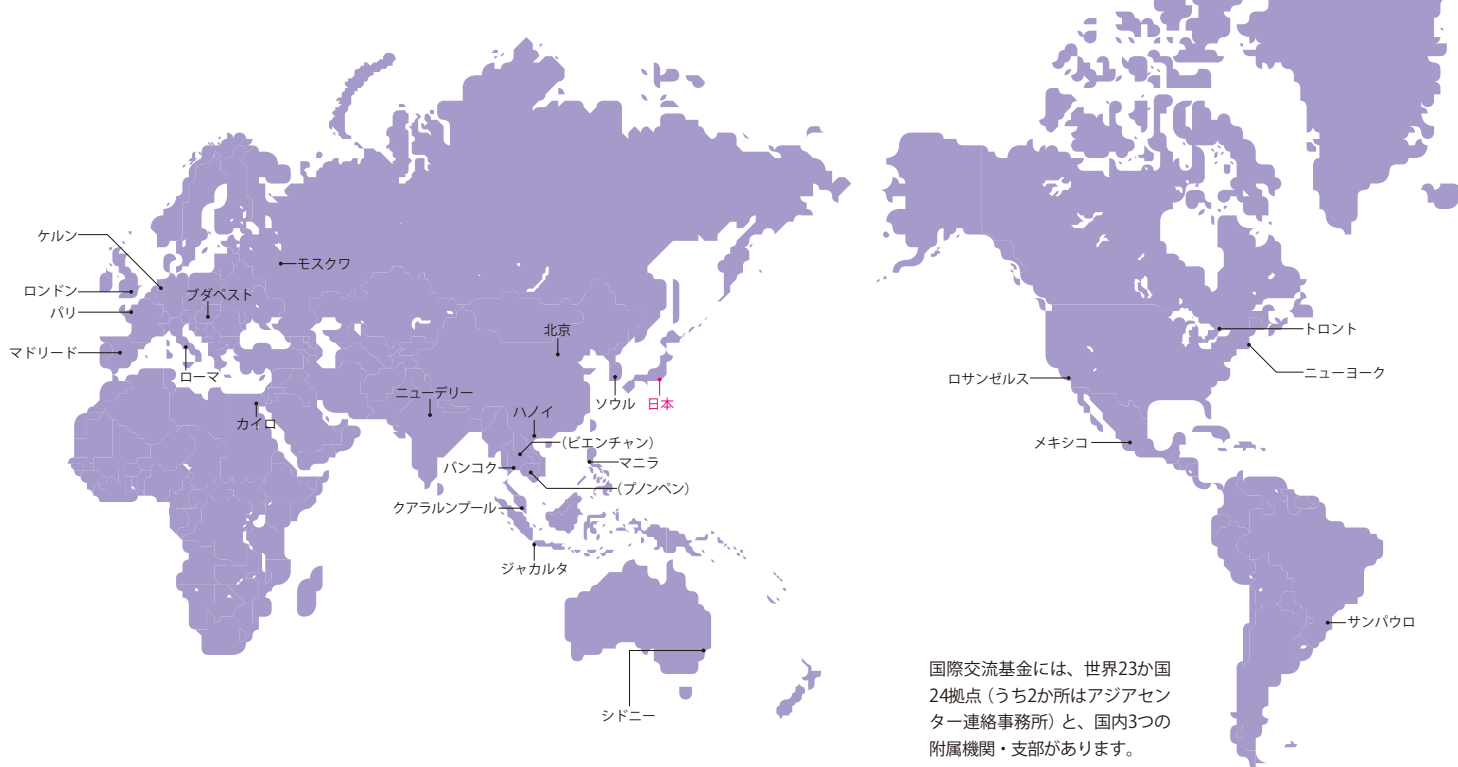
1. 国際会議や国・分野を越えた研究者間の
ネットワークづくりに対して助成しています
→ 国際交流基金ウェブサイト → 助成を受けたい
2. 日本に関して書かれた外国語の文献を揃えています
→ ライブラリーで貸し出しを行っています

国際交流基金ウェブサイト

<http://www.jpf.go.jp/>

*上記ウェブサイトから、最新情報、おすすめイベントを
伝えるメールマガジンにご登録いただけます





国際交流基金には、世界23か国
24拠点（うち2か所はアジアセン
ター連絡事務所）と、国内3つの
附属機関・支部があります。

世界で活動を展開する 国際交流基金の ネットワーク



国際交流基金 本部

本部機能とともに、ライブラリーを併設。
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1
総務部総務課 Tel. 03-5369-6051 Fax. 03-5369-6031

国際交流基金ライブラリー

国際文化交流に関する蔵書・資料等、約37,000点を収蔵。
国際交流基金本部内
開館：月～金 / 10:00～19:00 Tel. 03-5369-6086 Fax. 03-5369-6048

日本語国際センター

1989年に設置された、海外の日本語教師を支える総合的な専門施設。
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36
Tel. 048-834-1180 Fax. 048-834-1170

関西国際センター

海外の日本語学習者支援のための日本語教育専門施設。
〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北3-14
Tel. 072-490-2600 Fax. 072-490-2800

京都支部

関西圏の国際交流の担い手と連携し、日本文化を発信。
〒606-8436 京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館3F
Tel. 075-762-1136 Fax. 075-762-1137